

## 告 辞

県立吉田病院附属看護専門学校の第51回卒業証書授与式にあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

本日、ここに、めでたく卒業証書を手にした皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、ご家族の皆様方におかれましても、お喜びのことと存じます。心からお祝いを申し上げます。

皆さんは、「学習者自らの能力を最大限に発揮し、質の高い看護を提供できる専門職業人を育成する」という本校の教育理念の下に、看護師として必要な知識や技術に加え、最も大切な「看護の心」を学んだことと思います。学びの過程では、ご家族や先輩方、教員や臨床指導者などの多くの方々に支えられ、人間としても成長できたことと思います。この尊い経験は、大きな誇りであり、本日、ここに卒業の日を迎えられた胸中には感慨深いものがあるものと考えております。

さて、2025年問題や超高齢社会への対応が喫緊の課題となっている今日では、科学技術も進歩を続け、医療機器や新薬の開発、遺伝子治療・再生医療の登場、AI技術やICTの医療分野への進出に加え、看護師による特定行為の実践

など、以前では考えられないくらいの変化が起きています。これらの医療現場の変化に対応しなければならない一方で、患者と密に接する看護の現場では、人間として最も大切な「やさしさ」や「思いやり」の重要性は不変であります。看護は目に見えない患者や家族の思いを捉える観察力、判断力、そして行動へとつなげる実践力、加えて人として向き合うことのできる人間性が備わって、本当の意味での患者とその家族の信頼を得ることができるものと考えております。この2年間で学んだことを忘れずに、看護の第一線で活躍してほしいと願っております。

昨年、ラグビーのワールドカップが日本で開催され、日本代表の選手は約半数が海外生まれということもあり、チームをまとめるために、「One TEAM (ワンチーム)」をスローガンに掲げ戦ったことはご承知のことと思います。

医療現場においても、医師、看護師、医療技術職員、事務職員等の多くの職種が連携を図り、それぞれの専門性を発揮するとともに、お互いを補完し合う、まさに「One TEAM (ワンチーム)」によって最善の医療が提供できるものと思います。特に、看護師は医療チームの中でも、最も長く患者や家族と関わり、不安や悩みを聞くことができる身近な存在です。看護師として専門性を発揮するために、継続

して学び自己研鑽を積むこと、多くの人の価値観に触れ豊かな人間性を養うこと、そして経験を積み重ね知識と技術を向上させることを心がけ、チームの要として患者に寄り添うことのできる看護師へ成長されることを期待しております。

令和という新しい時代がスタートしました。皆さんは令和初の卒業生です。令和には、人々が自分の人生においてそれぞれの花を咲かせていく、夢や希望が花開いていく時代にしたいという意味が込められているそうです。看護師として積み重ねた自分の力を信じ、より一層の磨きをかけ、自らを大きく輝かせてくれることを心より願っております。

最後になりますが、今日までご指導にあたられた先生方、関係機関・関係施設の方々に敬意を表しますとともに、卒業生の皆さんのご健康とご多幸、そして輝かしい未来を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和2年3月10日

新潟県病院事業管理者 岡 俊幸